

レガシーCURWB無線のファームウェアのアップグレード

内容

[はじめに](#)

[背景説明](#)

[使用するコンポーネント](#)

[前提条件](#)

[ファームウェアアップグレードのさまざまな方法](#)

[デバイスのGUIの使用](#)

[RACERオフライン方式の使用](#)

[RACER Online方式の使用](#)

[FM 1K/10Kゲートウェイ：USBフラッシュドライブを使用したファームウェアのアップグレード](#)

[追加情報](#)

はじめに

このドキュメントでは、アップグレード手順と、レガシーCURWB無線のファームウェアアップグレードに役立つベストプラクティスについて説明します。

背景説明

Cisco Ultra-Reliable Wireless Backhaul(CURWB)を使用すると、リモートの建物や固定または移動する資産をネットワークに接続できます。高データレート、超低遅延、パケット損失、シームレスなハンドオフを実現します。

使用するコンポーネント

この手順を適用できるデバイスのリストは次のとおりです

- FM-PONTE-50
- FM1200V-HW
- FM3200B-HW/FM4200M-HW
- FM4200F-HW
- FM3500E-HW/FM4500M-HW
- FM4500F-HW

- FM1000
- 0.FM10000

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

前提条件

FM-PONTE-50：現在のファームウェアが1.2.1より前の場合は、最新のファームウェアにアップグレードする前に、まず1.2.1にアップグレードする必要があります。

FM1200V-HW:

Gen1(シリアルが120020Xより小さい)：現在のファームウェアが7.4.1.1より前の場合は、最新のファームウェアにアップグレードする前に、まず7.4.1.1にアップグレードする必要があります。

Gen2(シリアル番号が120020Xより大きい)：現在のファームウェアが7.4.1より前の場合、最新のファームウェアにアップグレードする前に、まず7.4.1にアップグレードする必要があります。

FM3200B-HW/ FM4200M-HW：現在のファームウェアが8.1.1より前の場合、最新のファームウェアにアップグレードする前に、最初に8.1.1にアップグレードする必要があります。

FM4200F-HW：現在のファームウェアが8.1.1より前の場合、最新のファームウェアにアップグレードする前に、まず8.1.1にアップグレードする必要があります。

FM3500E-HW/FM4500M-HW：ファームウェアを最新バージョンにアップグレードするための前提条件はありません。

FM4500F-HW：ファームウェアを最新バージョンにアップグレードするための前提条件はありません。

FM1000/FM10000:2019年11月5日以降に作成されたファームウェアイメージでは、該当するゲートウェイユニットに特別なワンタイムオペレーティングシステム(OS)アップデートを適用する必要があります。このアップデートにより、今後すべてのアップグレードをインターネット接続なしで実行できます。

更新は、fluidmesh-1000-10000-sp1.fmupd(210 MB)という名前のサービスパックファイルに含まれています。この更新プログラムは、Fluidmeshパートナーポータルからダウンロードできます

この手順は、インターネットに接続しなくても実行できます。次のハードウェアとソフトウェアが必要です。

- FM1000/FM10000ファームウェアイメージファイル。 (<https://partners.fluidmesh.com/>からダウンロードできます)

- OSサービスパックファイルfluidmesh-1000-10000-sp1.fmupd。
(<https://partners.fluidmesh.com/>からダウンロードできます)
- 少なくとも300 MBの空き容量を持つFAT32でフォーマットされたUSBフラッシュドライブ。

ファームウェアアップグレードのさまざまな方法

1. 無線のGUIの使用
2. RACERオフライン方式の使用
3. RACER Online方式の使用
4. TFTPを使用したファームウェアのアップグレード
5. TACチームの支援によりCLIを使用する。

1. デバイスのGUIの使用

サポート対象デバイス : (FM-PONTE-50、FM1200V-HW、FM3200B-HW/FM4200M-HW、FM4200F-HW、FM3500E-HW/FM4500M-HW、FM4500F-HW、FM 1 000)

すべてのCURWB無線のファームウェアは、GUIを使用して現在のバージョンから最新バージョンにアップグレードできます。

1. 特定の無線の最新のファームウェアは、<https://partners.fluidmesh.com/> [Documentation > Firmware and Tools > Correct folder of the Hardware for upgrade]からダウンロードできます。
2. .iso/.binファイルがダウンロードされたら、これらは、次のスクリーンショットに示すように、GUIを使用して無線にファイルをアップロードすることでアップグレードできます。

RACER™

Offline

MONITOR™

Disabled

GENERAL SETTINGS

- general mode
- wireless radio
- antenna alignment and stats
- spectral analysis

NETWORK CONTROL

- ping softdog
- advanced tools

ADVANCED SETTINGS

- advanced radio settings
- ethernet settings
- static routes
- whitelist / blacklist
- snmp
- radius
- ntp
- misc settings

MANAGEMENT SETTINGS

- view mode settings
 - remote access
 - firmware upgrade
 - manage plug-ins
 - status
 - configuration settings
 - reset factory default
 - reboot
 - logout
- License Agreement

FIRMWARE UPGRADE

Firmware upgrade

Upload and upgrade the firmware using a firmware upgrade file.

Firmware upgrades are available to registered users at www.fluidmesh.com.

WARNING: POWERING OFF OR UNPLUGGING A FLUIDMESH UNIT DURING A FIRMWARE UPGRADE PROCEDURE WILL PERMANENTLY DAMAGE THE UNIT

Current version: **7.9**

Select the firmware file to upload and start the upgrade:

Browse

No file selected

Cancel

Upgrade

The screenshot shows the 'RACER Radio Configuration (1) - All projects' interface. A 'Download file' dialog box is open, displaying the following text: 'You are trying to download RACER configuration file of 1 units. You can upload this file in the RACER section on the web interface of a FM device in order to change configuration parameters, activate plug-ins and upgrade to the latest firmware version.' Below the text is a checked checkbox labeled 'Include latest firmware'. At the bottom of the dialog are 'No' and 'Download' buttons. The background interface includes a sidebar with 'Configure Devices', 'Share Devices', 'Configuration Templates', and 'Projects'. The main area has a toolbar with icons for 'Add Device', 'Assign to Project', 'Remove from Proj.', 'Download selected', 'Download All', and 'Apply Template'. Below the toolbar is a search bar and a table of configuration items. The table has columns for 'Mesh ID - Serial Number', 'Model', 'Configuration Mode', 'Status', 'Project Name', 'Demo Mode', 'Position', 'Warranty start date', and 'Warranty Expiry Date'. One item is listed with ID '5.0114.219 - 1200200593', model 'FMVOLO', and status 'DISCONNECTED'.

RACER™

Offline

MONITOR™

Disabled

GENERAL SETTINGS

- general mode
- wireless radio
- antenna alignment and stats
- spectral analysis

NETWORK CONTROL

- ping softdog
- advanced tools

ADVANCED SETTINGS

- advanced radio settings
- ethernet settings
- static routes
- whitelist / blacklist
- snmp
- radius
- ntp
- misc settings

MANAGEMENT SETTINGS

- view mode settings
- remote access
- firmware upgrade
- manage plug-ins
- status
- configuration settings
- reset factory default
- reboot
- logout
- License Agreement

RACER™ Management

RACER™ Configuration Mode

Provisioning: initial radio configuration phase. The radio MUST be configured using the Centralized Web Interface ([Fluidmesh Partners Portal](#)) if connection is successful or manually if *Offline* configuration is selected.

Offline Configuration: it supports local parameter changes through the radio Web UI / CLI or upload of a single file downloaded from RACER™ section in [Fluidmesh Partners Portal](#).

Online Cloud-Managed Configuration: the radio can be configured from the Centralized Web Interface (RACER™ section in [Fluidmesh Partners Portal](#)) if it is connected to the Internet and can access RACER™ Cloud Server. Radio Web UI and CLI are read-only.

Online Cloud-Managed

Offline

UPLOAD RACER™ CONFIGURATION FILE

Upload Configuration File

Select configuration file exported from
Fluidmesh Partners Portal:

[Browse](#)

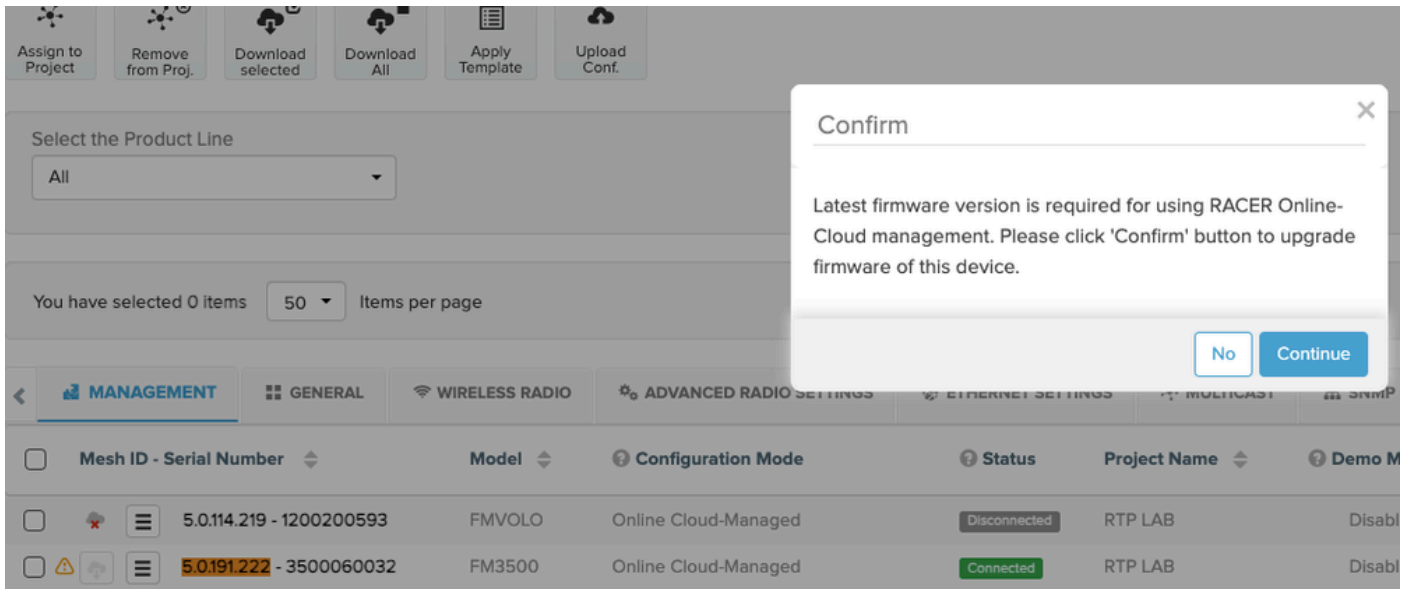
No file selected

[Upload Configuration](#)

2. RACERオフライン方式の使用

サポート対象デバイス : (FM-PONTE-50、FM1200V-HW、FM3200B-HW/FM4200M-HW、FM4200F-HW、FM3500E-HW/FM4500M-HW、FM4500F-HW、FM 1 000)

すべてのFluidmesh無線のファームウェアは、RACERポータルを使用して現在のバージョンから最新バージョンにアップグレードできます。ファームウェアをアップグレードする最初の方法は、RACERオフライン方式を使用することです。この方式では、ファームウェアの最新バージョンをRACERポータルからダウンロードでき、設定ファイルとして無線GUIのRACERタブに手動でアップロードできます。これによってファームウェアがアップグレードされ、設定の変更も行われます。



3. RACER Online方式の使用

無線がRACERオンラインサーバに接続されている場合は、RACERオンラインサーバを使用して無線のファームウェアをアップグレードできます。無線がRACERでサポートされている最新のファームウェア上にはない場合は、ファームウェアを最新バージョンにアップグレードするように顧客に警告します。

アラートをクリックすると、デバイスに最新のファームウェアをプッシュするかどうかを顧客に尋ね、Continueをクリックすると、ファームウェアのアップグレードが開始されます。

4. TFTPを使用したファームウェアのアップグレード

これらの設定により、接続されているCURWBデバイスのファームウェアをTFTPプロトコルを介してアップグレードできます。

手順：

1. 無線がRACER経由で接続されていないことを確認します。
2. サービスが実行されているTFTPサーバのルートにソフトウェアイメージを使用してTFTPサーバを設定します。
3. ファームウェアイメージを使用してTFTPサーバのIPアドレスを指定します。

```
tftp-fw-upgrade tftp-server
```

4. 必要なファームウェアイメージのファイル名を指定します。

```
tftp-fw-upgrade upgrade-fw-image
```

5.このプロセスは、新しいファイルがTFTPサーバにアップロードされたときに、CURWBデバイスがファームウェアのアップグレードを開始できる場所で自動化できます。次のコマンドを使用して、自動ファームウェアアップグレードを有効または無効にします。

```
tftp-fw-upgrade automatic-up
```

6.デバイスが新しいファームウェアアップグレードパッケージの存在を確認する定期的な間隔を指定します。

```
tftp-fw-upgrade check-period < value of check period in hours>
```

7.新しいファームウェアアップグレードパッケージの即時チェックを強制します。

```
tftp-fw-upgrade check-now
```

FM 1K/10Kゲートウェイ：USBフラッシュドライブを使用したファームウェアのアップグレード

1. 300 MB以上の空き容量のあるUSBフラッシュドライブがあることを確認してください。フラッシュドライブはFAT32でフォーマットされ、ファイルシステムエラーがない必要があります。
2. サービスパックファイルfluidmesh-1000-10000-sp1.fmupdのみをUSBフラッシュドライブのルートディレクトリにコピーします。FM1000/FM10000では認識されないため、他のファイルを使用しないでください。
3. USBフラッシュドライブをFM1000またはFM10000の空いているUSBポートに挿入します。FM1000またはFM10000に複数のUSBフラッシュメモリデバイスを同時に接続しないでください。
4. 該当するFM1000またはFM10000デバイスのユーザマニュアルの「ユニットファームウェア

の上書きとアップグレード」の項に記載されているように、ファームウェアをアップグレードします。（マニュアルはパートナーポータルから収集可能）

5. デバイスがリブートしたら、FIRMWARE UPGRADEダイアログに表示されるファームウェアバージョン番号を確認します。バージョン番号が元のバージョン番号から変更されていない場合は、ファームウェアのアップグレードが失敗しています。この場合は、前の手順をすべて繰り返して実行する必要があります。

追加情報

前の手順に従って、Service PackをUSBドライブに追加し、FM1000 Gatewayに接続します。

次に、GUI/ファームウェアアップグレードに移動し、ファイルFM1000-1.6.0.binを選択してゲートウェイをアップグレードします

FM10000:

Gen1 (現在のファームウェア1.X.X) :Cisco TACに連絡して、CLI経由でファームウェアをアップグレードしてください。

Gen2 (現在のファームウェア2.X.X) :Cisco TACに連絡して、CLI経由でファームウェアをアップグレードしてください。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。